

#院内ラボ(院内技工)
#歯科技工士
#CAD/CAM
#口腔内スキャナー

噛み合わせが変わる、院内ラボの技工力

～最良の補綴治療は歯科技工士との信頼関係が重要～



池川 朋孝
技工士

朝倉歯科副院長
スーパーテクニシャン

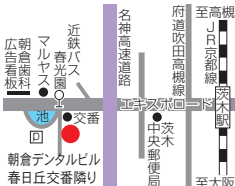
朝倉歯科医院

インプラント審美補綴研究所
大阪大学歯学部臨床研修施設
小児歯科Happy club
ホワイトニングサロンBLANCA
茨木市南春日丘1-1-19

☎072-625-2001

📠0120-468-321

com21adc@gold.ocn.ne.jp



歯を失う原因は虫歯や歯周病です。入れ歯や被せ物（補綴物）の噛み合わせが悪いと、咀嚼力の低下、頭痛、肩こり、舌の痛みなど全身に不調をきたします。適合精度を支えるのが歯科技工士の技術です。しかし、院内ラボがある医院はわずか2～3%です。院内技工は、仮歯や入れ歯の修理がその日のうちに完了し患者様の満足度もUPします。技工士と直接対話することで、色調や形状の細かな要望も実現できます。特に入れ歯治療の型採り、噛み合わせのチェックや前歯の色合わせなど技工士が立ち会い、医師と密に連携することで補綴物の精度や審美性は格段に向上し、保険制度でも「歯科技工士連携加算」として評価されました。又、CT、CAD/CAMなどでのデジタル化へのアプローチが3Dプリンター技術となりました。院内ラボがある医院は、患者さんとの信頼関係が生まれ、しっかり咬める、精密で質の高い治療を受けることができます。



セカンドオピニオン外来の相談は朝倉院長がお聞きします

審美歯科・ホワイトニング・インプラント、金属アレルギー・入れ歯・噛み合わせ・歯周病・矯正・訪問診療はお気軽にご相談ください。